

会議録

- | | | |
|---|----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会議の名称 | 令和4年度第3回社会教育委員会議 |
| 2 | 開催日時 | 令和4年9月26日(月)午後7時～8時30分 |
| 3 | 開催場所 | 熊取町交流センター (煉瓦館) コットンホール |
| 4 | 議 題 | 案件1 熊取町第4次生涯学習推進計画 中間見直し (素案)について 案件2 公民館・町民会館の整備事業の進捗状況について 案件3 その他 |
| 5 | 公開・非公開の別 | 全部公開 |
| 6 | 傍聴者数 | 0人 |
| 7 | 審議等の概要 | |

○案件1について

- ・資料に沿って事務局が要点説明を行い、委員の意見を伺った。

【委員から主な意見】

(議長) 事前に事務局に、第1章「生涯学習を取り巻く社会や環境の変化」について内容精査の必要がある旨伝えた。(1)「人口減少と少子高齢化の進展」(2)「ICTの発展をはじめとする社会の変化」(4)「生涯学習をめぐる国際的な動向」の文中を再考願いたい。

また、オンライン学習の表記があるが、これまで検討に至ってはいなかったが、学校現場では、オンラインでも開催するが、対面での実施も用意するといったハイブリット型で準備することが多い。

(委員) コロナ禍での研修はほとんどがオンラインで実施した。ハイブリットとなると敷居が高くなる。オンラインは移動がなくいいなと思う反面研修内容が入ってきにくい面もある。実施については効果的に行う必要がある。行政がすべて考えるのは大変、住民が主体となればよいが。関係部局との連携について簡単にでき

ないのかと思う。

(議長) 文科省では、障がいがある人の生涯学習にも触れているが、利用したい人になかなか情報が届きにくいことが課題である。

(委員) SDGs では、誰も取り残さないという視点がある。

○案件2について

・公民館・町民会館整備事業の進捗状況について事務局より資料に沿って説明を行った。

(委員) 直営で運営するというので、この資料を見ただけでも住民同意を得られやすいと考える。

(委員) 文化振興企画専門員についての導入検討は進めれているのか。決まらない場合は、業務委託等どのように考えているのか。

(事務局) 人材確保は難しいと考えるため、あらゆる方法により人材確保に努めたい。人材確保が困難な場合は、外部への業務委託の選定方法についても今後の検討課題とする。

8 会議の情報

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 名称 | 社会教育委員会議 |
| 根拠法令等 | 社会教育委員会議運営規則 |
| 設置期間 | 昭和57年4月1日～ |
| 所轄事項 | 教育委員会の社会教育に関する諮問に応じ、これに対して意見を述べること。 |
| 委員数 | 9人 |

9 担当課

生涯学習推進課